



平成 26 年度 4 分の 3 が終わりました 新年を迎えるにあたって

— 学校生活をふりかえってみよう —

平成26年度の学校生活も早いもので9か月が過ぎました。本校は12月20日(土)から冬季休業に入っているところ。とはいえ、多くの生徒の皆さんはこの休業中も登校し、進学講習や部活動などさまざまな活動に取り組むことと思います。久しぶりの長期休業です。年末年始など、家族でゆっくり団らの時間を過ごし、心身ともにリフレッシュしてください。

さて、あと数日で2014(平成26)年が終わります。皆さんにとって今年はどんな一年となったでしょうか。これまでの振り返ると、日々の学習をいじめ、行事では学校祭や体育大会など、大いに力を発揮してくれました。また部活動でも、すばらしい活動実績を上げています。とくに今年度は、陸上部3名・美術部1名の計4名が全国大会に出場したのをはじめ、サッカー部が悲願の室蘭地区公式戦初優勝を果たすなど、体育系・文化系ともに多くの部局が支部で優秀な成績を収め、全道大会に出場しました。オフシーズンとなった現在も、寒いなか早朝から登校し、熱心に朝練習に取り組んでいる1～2年生の姿があります。今後のさらなる飛躍を期待します。

その一方で、「服装・頭髪などの身だしなみ」「交通ルール・乗車マナーの遵守」についてはどうだったでしょうか。幸い大きな事故やトラブルもなく、全体的には落ち着いた学校生活を送っています。しかし、若干ではあります「服装がみだれている」「乗車マナーが悪い」といった地域の声があるのも事実です。ほんの一部の生徒がルールやマナーを守らないことで、学校や生徒全体の評価が下がり、真面目な生徒まで悪評にさらされてしまうというのは、とても不幸で、残念なことです。

また、「いじめやネットトラブルの未然防止」についてはどうでしょう。集団で生活している以上、対人関係のさまざまな悩みやすれ違いが起こってしまいます。時には些細なきっかけから、友人や先生に対して“不満や怒り”を感じることもあるでしょう。ですがその不満を「悪口」として広めたり、インターネットに書き込んだりしたところで、なんら問題解決にはなりません。ましてや、何もしていないのに一方的にからかったり、苦痛を与えたりするような行為は、ゼッタイに許されることではありません。たとえ自分に傷つけようという意志や自覚がなくとも、ちょっとした遊び心で発した言動が、深く相手を傷つけてしまうことがあります。そして皆さんも経験したことがあるように、一度傷つけてしまった相手の心は、簡単に癒えるものでもありません。時には「ごめんなさい」では済まない状況もあるでしょう。これまでの学校生活を胸に手を当て振り返ってみてください。

近年、多くの大学や企業で「受験の多様化」が進んでおり、学力だけではなく「人間性」や「社会性」がより問われるようになってきています。挨拶・礼儀・ルールやマナーを守る、そして望ましい人間関係づくり——皆さんが大人(オトナ)として社会生活を営むための土台が今の高校生活にあります。いじめやトラブルのない安心・安全な学校づくりに向けて、日々の生活をいまいちど振り返り、良い新年を迎えましょう。

★いじめは、どんな理由があろうとも、
決して許されるものではありません。
それをはやしたてる行為も同じです。

★「何かされた・やられた」からといって、
仕返しをしてはいけません。



絆を深めた体育大会のひとコマより

本校でも定期的に「いじめに関するアンケート」をおこなっています。困ったり悩んだりしていることがあれば、遠慮せず相談し、一人で抱え込んだりしないでください。



「e-ネット安心講座」実施 トラブルの未然防止を!!

— スマホ・ネット依存に陥らないために —

10月28日(火)7校時、全校生徒を対象に『e-ネット安心講座』を実施し、スマートフォンやインターネットに関する注意点やトラブル防止について学びました。講師の中村研治(「e-ネットキャラバン協議会」に所属され全国で講演しています)さんは、今や社会問題の一つとなっている“スマホ・ネット依存”の状況や危険性を強調し、具体的な事例にもとづいた中村さんのお話に、生徒たちも真剣に耳を傾けていました。本校でも多くの生徒

がスマホやケータイを使用しています。休み時間や放課後になると、画面とのにらめっこが始まり、「声をかけても気づかない」「周囲がみえず廊下でぶつかる」といった光景もやや見受けられます。あるいは帰宅後、深夜遅くまで利用している状況もあるようです。トラブルを起こさなくとも、こうした“依存状態”は、本校においても決して他人事ではない深刻な問題といえるかも知れません。「コメントや返信をしなければ」という義務感や、「仲間はずれになるのでは」という恐怖感。スマホを使用しないことで安心感や開放感を得たという高校生のお話もありました。偽りが多く、真実や正体のみえないネットの交流だけでは、コミュニケーションの経験不足に陥り、より良い対人関係を築いていくことができなくなります。

中村さんは、自分で抑制することも大切ながら“家庭でのルールづくりをしかりする”ことを強く訴えていました。そのことが、何よりトラブルの防止や、心身の健康を保つことにつながります。

★ 家庭での「ルールづくり」の例 ★ そのぶん机に向かい、成績が向上した例も!

- ・定期考査や模試等の2週間前から、保護者などにスマホやゲーム機を預ける(没収ではなく、見える範囲でよい)。
- ・夜22時以降は、スマホを自分の部屋(枕元)ではなく、リビングなどにおく。
- ・保護者がすぐに買い与えるのではなく、条件をつける(成績など)。

本校生徒が交通安全標語コンクールで “全道最優秀賞”を受賞しました!

3年B組 山城 夏穂 さん

「イヤホンが 迫る危険の 音を消す」

本校で実施した「交通安全標語コンクール」において優秀賞を受賞した3年B組山城夏穂さんの作品が、全道規模の「第33回交通安全標語・ポスターコンクール」において最優秀賞に輝きました。全道で700点を超える応募作品の中から選ばれたことは大変すばらしいことです。自らの体験から生まれた標語のようですが、誰もが「そのとおり」と納得・共感のできるスローガンではないでしょうか。今回の受賞を機に、生徒一人ひとりが“交通安全・事故ストップ”にむけて自覚的に行動していきましょう。山城さんの標語は、これから全道各地で掲示されます。おめでとうございます。



年末年始で気を緩めずに… 事故防止に最大限注意を!

— 警察や地域の方々が目目を光らせています —



長期休業に入っています。年末年始はクリスマスや初詣など、家族や友人どうしで出かけることも多いと思います。大人も同じで多くの人でマチが賑わいます。飲酒・喫煙などもってのほかですが、深夜徘徊などで補導されることのないよう、気を緩めずに冬休みを過ごしてほしいと思います。また、冬休み期間中に短期でアルバイトを申請した生徒もいますが、手続きやルールを守っておこないましょう。労働は夜21時までです。22時までには必ず自宅に着いているようにしてください。言うまでもなく、学業が第一優先です。バイトで成績が下がってしまうようなことのないように…(成績不振・欠課超過者はアルバイト禁止です)。

さて日が短くなるにつれ、生徒たちが部活動を終えて帰宅する時間帯には、辺りがすっかり暗くなっています。本校でも12月から自転車通学が禁止となり、J Rやバスで登下校する生徒もだいぶ増えてきました。年度当初にも周知していますが、**定期券の不正使用は万引きと同じです**。期限の切れた定期券を使用したり、忘れたからといって他人のモノを使用することは立派な“**犯罪行為**”です。通勤で利用する社会人の方々も多数おられますので、乗車マナーにも十分留意しましょう。

また、例年この時期になると、J R・バスの車内や夜道などでの**不審者情報**が学校に多く寄せられるようになります。暗い中で帰宅することはやむを得ませんが、できるだけ複数で下校したり、人通りの多い道を選ぶなどして、日頃から防犯意識を高めましょう。何かあれば、速やかに警察や学校に報告・相談してください。「休業中の心得」を熟読し、事故なく元気に登校しましょう!

